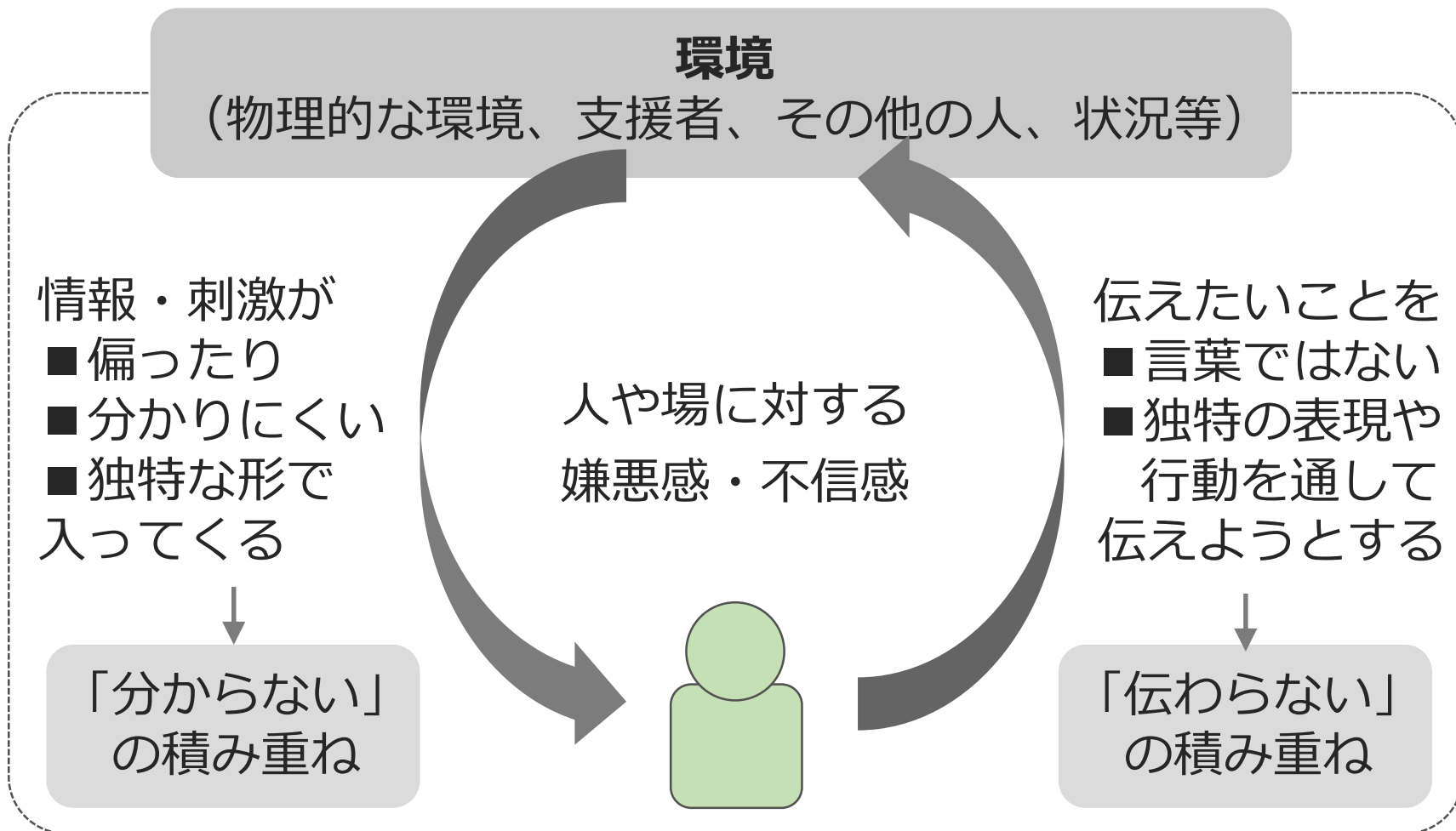


1日目 10:05~10:25〔20分〕

【講義】研修の意図と期待すること

- 基礎研修プログラムを振り返ります（各講義と演習のねらいを再度確認）
- 強度行動障害支援者養成研修と人材養成の全体像
- 指導者研修の企画の重要事項
- 最後にもう一度、指導者養成研修（都道府県における研修実施者養成）として、受講されている皆さんに是非とも理解して欲しいこと

なぜ強度行動障害になるのか？



障害特性 × 環境要因 ⇒ 強度行動障害

共通する支援の枠組み

- ☑ 構造化された環境の中で
- ☑ 医療と連携しながら
- ☑ リラックスできる強い刺激を避けた環境で
- ☑ 一貫した対応をできるチームを作り
- ☑ 自尊心を持ちひとりでできる活動を増やし
- ☑ 地域で継続的に生活できる体制づくりを進める

基礎研修と実践研修の目指すもの

基礎研修

障害特性を理解した支援が大切であること、個人プレイに走らずチームで取り決めた支援方法を丁寧に実施する大切さを学ぶ

【講義】

- 強度行動障害とは（地域で強度行動障害者に支援する体制を構築する重要性）
- 様々な強度行動障害者支援の取り組み（実践報告・家族の提言・医療との連携）
- P D C Aサイクルの重要性（構造化、記録と再計画）

【演習】

- 気付き：障害特性の理解の重要性（コミュニケーション理解と様々な手がかり）
- 探索：行動の背景を考える（冰山モデル）

実践研修

障害特性に配慮した具体的な支援計画を立案し、チームで協力して支援を続けるために努力することの大切さを学ぶ

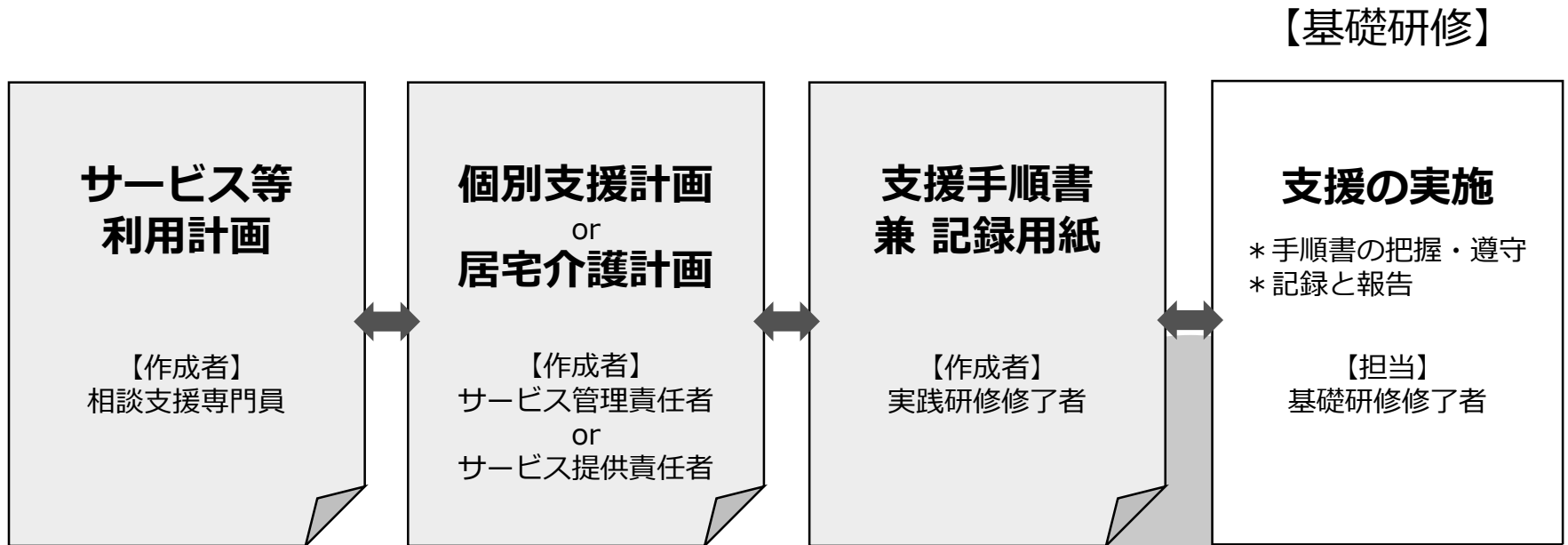
【講義】

- チーム支援の基本（チームで同じ方向に向かって支援することの重要性）
- 様々な強度行動障害者支援の取り組み（実践報告・家族の提言・医療との連携）

【演習】

- プラン①：障害特性に配慮した支援計画の立案（4つのプロセス）
- プラン②：支援の手順書の作成
- 記録：効果的な情報収集の方法・チームで支援するための報告

チームで支えるという意味をしっかりと考えよう



強行指導者養成研修の目指すところ

- 日々の利用者の変化に応じた細かな支援の**変更**が必要
- 支援の記録を取り、修正に反映する仕組みが重要になる

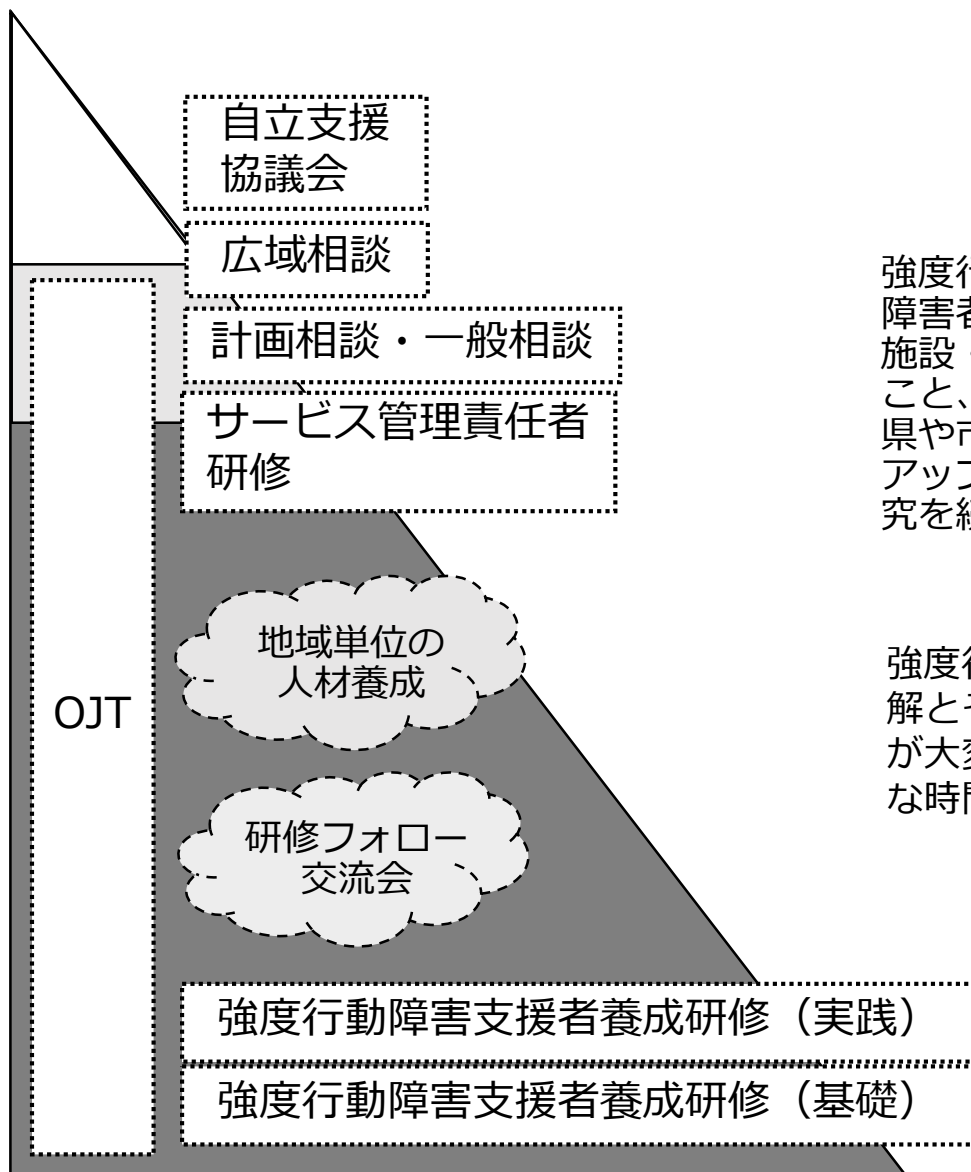
強度行動障害者支援の人材養成のコース案

質の高い生活の実現

障害特性に配慮した計画

健康やニーズを配慮

障害特性の理解



強度行動障害者支援者養成研修だけで、強度行動障害者支援の人材養成が完了するわけではない。施設・事業所内のOJTの重要性はもちろんのこと、ステップアップするための工夫を都道府県や市町村単位で工夫して下さい（ステップアップのあり方については、のぞみの園でも研究を続けていきます）

強度行動障害者支援においては、障害特性の理解とその特性に配慮した計画を立案できることが大変重要であり、この過程を学ぶことに大きな時間と労力を要する

行動障害の背景にある障害特性を理解し、どのように対応を行うか、その基本的ノウハウを学ぶ第一歩の研修